



Cisco MeetingPlace Audio Server
スタートアップガイド
Release 5.3



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。見当たらない場合には、代理店にご連絡ください。

次の情報は Class A 装置の FCC 適合に関するものです。この装置はテスト済みであり、FCC ルールの Part 15 に記載されている Class A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。この制限により、Class A デジタル装置を商業施設で動作させた場合、有害な干渉が起きないようにしています。この装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、また放射することもあります。取り扱い説明書に従って設置または使用しなかった場合には、無線通信に有害な干渉を起こすことがあります。また、この装置を住居で使用する場合には有害な干渉を起こすことがあり、ユーザ側の費用で干渉防止措置を講じなければならない場合があります。

次の情報は Class B の FCC 適合に関するものです。このマニュアルで解説している装置は、無線周波エネルギーを発生し、また放射することもあります。シスコのインストールに関する指示に従って設置されない場合には、ラジオやテレビの受信に干渉を起こす可能性があります。この装置は、テスト済みであり、FCC ルールの Part 15 に記載されている仕様に基づく Class B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの仕様では、住居に設置した場合にこのような干渉が起きないようにしています。ただし、特定の設置条件で干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコの書面による許可なしに装置を変更すると、Class A または Class B デジタル装置に要求される FCC への適合ができない可能性があります。この場合、装置の使用権限は FCC 規制によって制限され、ユーザ側の費用でラジオまたはテレビへの干渉防止措置を講じなければならない場合があります。

装置の電源を切ることによって、装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコの装置またはその周辺装置が原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- ・干渉がなくなるまでテレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- ・テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動します。
- ・テレビまたはラジオから離れた場所に装置を移動します。
- ・テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します (装置とテレビ / ラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします)。

シスコにより認められていない変更をこの製品に対して行った場合には、FCC 認定が無効になり、さらにユーザは製品を操作する権限を失うことになります。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) パブリック ドメイン パーミッションとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いません。

CCIP、CCSP、Cisco Arrow のロゴ、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、Fast Step、GigaStack、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、MGX、MICA、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0401R)

Cisco MeetingPlace Audio Server スタートアップガイド Release 5.3

Copyright © 2004 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



CHAPTER 1**Cisco MeetingPlace Audio Server システムの概要 1-1**

- 対象読者 1-2
- 適用範囲 1-2
- 製品名の表記法 1-2
- このリリースの新機能 1-3
 - Cisco MeetingPlace Video Integration 機能 1-3
 - 危機管理機能 1-4
 - 予約不要の会議の機能強化 1-4
 - サービサビリティの機能強化など 1-5
- その他の資料 1-6

CHAPTER 2**Cisco MeetingPlace Audio Server システムのマニュアル ロードマップ 2-1**

- Cisco MeetingPlace Audio Server システムのマニュアルについて 2-2
- マニュアル ロードマップ 2-3

CHAPTER 3**Cisco MeetingPlace Audio Server システムについて 3-1**

- Cisco MeetingPlace 8106 のハードウェア特性 3-2
- Cisco MeetingPlace 8112 のハードウェア特性 3-3
- Cisco MeetingPlace 8100 シリーズのハードウェア コンポーネント 3-4
- Cisco MeetingPlace 8106 のアラーム パネル 3-6
- Cisco MeetingPlace 8112 のアラーム パネル 3-7
- Cisco MeetingPlace Audio Server システムの設定について 3-8
 - Cisco MeetingPlace 8106 の設定 3-9
 - 例：T1 CAS 設定 3-9
 - 例：T1 PRI 設定 3-10
 - 例：純粋な IP 設定 3-10
 - 例：T1 CAS と IP の混合設定 3-11
 - 例：T1 PRI と IP の混合設定 3-13
 - 例：E1 設定 3-15
 - 例：E1 と IP の混合設定 3-15
 - Cisco MeetingPlace 8112 の設定 3-17

例：T1 CAS 設定	3-17
例：T1 PRI 設定	3-18
例：純粋な IP 設定	3-18
例：T1 CAS と IP の混合設定	3-18
例：T1 PRI と IP の混合設定	3-19
例：純粋な E1 設定	3-20
例：E1 と IP の混合スロット設定	3-20
Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェア	3-22

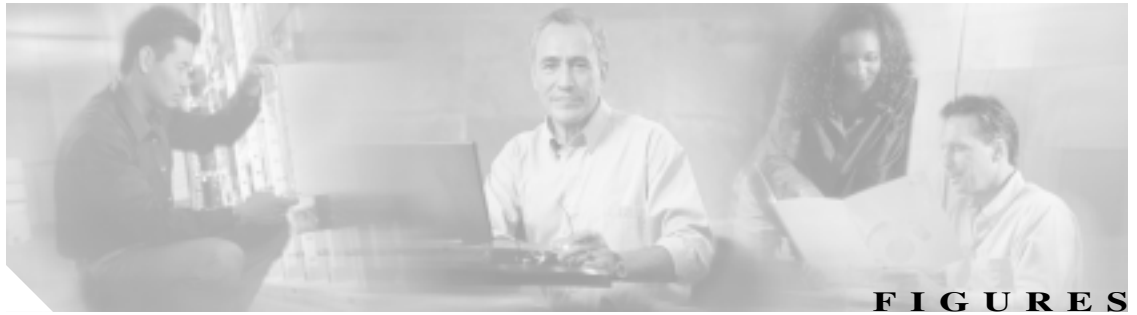


図 3-1	Cisco MeetingPlace 8106 の機能 (前面図)	3-2
図 3-2	Cisco MeetingPlace 8112 の機能 (前面図)	3-3
図 3-3	Cisco MeetingPlace 8106 の LED の場所	3-6
図 3-4	Cisco MeetingPlace 8112 の LED の場所	3-7



T A B L E S

表 2-1	Cisco MeetingPlace Audio Server システムのマニュアル ロードマップ	2-3
表 3-1	Cisco MeetingPlace Audio Server のハードウェア コンポーネント	3-4
表 3-2	Cisco MeetingPlace 8106 の LED の説明	3-6
表 3-3	Cisco MeetingPlace 8112 の LED の説明	3-7
表 3-4	ブレードおよびブレードがサポートするアクセス ポートの数	3-8
表 3-5	ブレード設定の可否	3-8
表 3-6	Cisco MeetingPlace 8106 で許可されるブレード設定	3-9
表 3-7	純粋な T1 CAS 設定、576 個の T1 CAS ポート	3-9
表 3-8	純粋な T1 PRI 設定、368 個の T1 CAS ポート	3-10
表 3-9	純粋な IP 設定、480 個の IP ポート	3-10
表 3-10	120 個の IP ポート、360 個の T1 CAS ポート、合計 480 個のポート	3-11
表 3-11	96 個の IP ポート、384 個の T1 CAS ポート、合計 480 個のポート	3-11
表 3-12	240 個の IP ポート、240 個の T1 CAS ポート、合計 480 個のポート	3-12
表 3-13	360 個の IP ポート、120 個の T1 CAS ポート、合計 480 個のポート	3-12
表 3-14	120 個の IP ポート、92 個の T1 PRI ポート、合計 212 個のポート	3-13
表 3-15	120 個の IP ポート、253 個の T1 PRI ポート、合計 373 個のポート	3-13
表 3-16	240 個の IP ポート、92 個の T1 PRI ポート、合計 332 個のポート	3-14
表 3-17	180 個の IP ポート、92 個の T1 PRI ポート、合計 272 個のポート	3-14
表 3-18	純粋な E1 設定、480 個の E1 ポート	3-15
表 3-19	120 個の IP ポート、120 個の E1 ポート、合計 240 個のポート	3-15
表 3-20	120 個の IP ポート、240 個の E1 ポート、合計 360 個のポート	3-16
表 3-21	240 個の IP ポート、120 個の E1 ポート、合計 360 個のポート	3-16
表 3-22	Cisco MeetingPlace 8112 で許可されるブレード設定	3-17
表 3-23	純粋な T1 CAS 設定、1152 個の T1 CAS ポート	3-17
表 3-24	純粋な T1 PRI 設定、736 個の T1 PRI ポート	3-18
表 3-25	純粋な IP 設定、960 個の IP ポート	3-18
表 3-26	120 個の IP ポート、936 個の T1 CAS ポート、合計 1056 個のポート	3-18
表 3-27	480 個の IP ポート、576 個の T1 CAS ポート、合計 1056 個のポート	3-18
表 3-28	240 個の IP ポート、720 個の T1 CAS ポート、合計 960 個のポート	3-19
表 3-29	600 個の IP ポート、360 個の T1 CAS ポート、合計 960 個のポート	3-19
表 3-30	480 個の IP ポート、92 個の T1 PRI ポート、合計 572 個のポート	3-19
表 3-31	480 個の IP ポート、368 個の T1 PRI ポート、合計 848 個のポート	3-19
表 3-32	純粋な E1 設定、960 個の E1 ポート	3-20
表 3-33	120 個の IP ポート、480 個の E1 ポート、合計 600 個のポート	3-20
表 3-34	480 個の IP ポート、480 個の E1 ポート、合計 960 個のポート	3-20

表 3-35	480 個の IP ポート、120 個の E1 ポート、合計 600 個のポート	3-21
表 3-36	120 個の IP ポート、120 個の E1 ポート、合計 240 個のポート	3-21



Cisco MeetingPlace Audio Server システムの概要

この章では、次のトピックについて取り上げます。

- [対象読者 \(P.1-2\)](#)
- [適用範囲 \(P.1-2\)](#)
- [製品名の表記法 \(P.1-2\)](#)
- [このリリースの新機能 \(P.1-3\)](#)
- [その他の資料 \(P.1-5\)](#)

対象読者

このマニュアルは、Cisco MeetingPlace Audio Server システムのインストール担当者、設定担当者、またはユーザを対象としています。音声とデータの専門用語および概念を十分に理解しておくことをお勧めします。

適用範囲

『*Getting Started Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』では、Cisco MeetingPlace Audio Server システムに関する一般的な情報を提供します。また、Cisco MeetingPlace Audio Server システムの他のマニュアルへのロードマップも示します。このマニュアルでは、Cisco MeetingPlace 8106 および Cisco MeetingPlace 8112 向けの Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3 について説明します。

製品名の表記法

このマニュアルでは、次の製品名の表記法が使用されています。

製品	表記法
Cisco MeetingPlace MeetingTime Release 5.3	MeetingTime
Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3 : Release 5.3 がインストールされているソフトウェアおよびハードウェア	Cisco MeetingPlace Audio Server システム
Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway	Cisco MeetingPlace H.323/SIP IPGW
Cisco IPVC Multipoint Control Unit 3.5plus	Cisco IPVC MCU 3.5plus

このリリースの新機能

次の各項では、Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3 の新機能を示します。詳細については、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Release 5.3*』および『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Video Integration Release 5.3*』を参照してください。

- [Cisco MeetingPlace Video Integration 機能 \(P.1-3 \)](#)
- [危機管理機能 \(P.1-4 \)](#)
- [予約不要の会議の機能強化 \(P.1-4 \)](#)
- [サービサビリティの機能強化など \(P.1-5 \)](#)

Cisco MeetingPlace Video Integration 機能

Cisco IPVC MCU 3.5plus のビデオ リソースのスケジューリング

- 音声会議リソース用の Cisco MeetingPlace スケジューリング アルゴリズムが、Cisco IPVC MCU 3.5plus のビデオ リソースを含むように拡張されました。これには、オーバーブック ポートやフロータ ポートなどの Cisco MeetingPlace 設定概念が含まれます。
- Cisco MeetingPlace Video Integration をインストールして設定すると、Cisco IPVC MCU 3.5plus から Cisco MeetingPlace Audio Server システムにキャパシティの情報が提供されます。Cisco MeetingPlace Web Conferencing または Cisco MeetingPlace for Outlook からのスケジューリング要求はすべて、リソース割り当てのために Cisco MeetingPlace Audio Server システムに渡されます。
- この統合スケジューリング機能は、エンド ユーザに優れた利便性を提供し、より効果的な仮想会議を実現し、組織全体の生産性を向上させます。

Cisco MeetingPlace Video Integration の新しい設定フィールド

- デフォルトの E.164 エンドポイント番号、帯域幅、ユーザがビデオ リソースをスケジュールできるかどうかなど、ユーザ プロファイルに新しいデータベース フィールドが追加されました。
- 各会議に使用されるビデオ時間合計数(分)を追跡するための新しいフィールド(Meeting Details Report から表示可能)、および各参加者のビデオ時間数(分)を追跡するための新しいフィールド(Participant Join Leave Report から表示可能)が追加されました。
- 統合レポートにより、システム管理者は、1つのデータソースからリソースを簡単に管理できます。

統合ビデオ会議に適用される Cisco MeetingPlace 会議パラメータ

- Cisco MeetingPlace Video Integration を展開すると、現在のすべての Cisco MeetingPlace 会議パラメータ(会議の終了時刻、どのような場合に会議が自動的に延長されるか、会議の延長時間などを制御する)が Cisco IPVC MCU 3.5plus 上のビデオ会議に適用されます。
- MeetingTime で、これらのパラメータを設定します。
- 参加者は、音声だけ、ビデオだけ、またはすべてのメディアを介して、会議に参加できます。

危機管理機能

継続会議からの自動アウトダイヤル

- 電話機または MeetingTime から手動でアウトダイヤル機能を開始できます。Cisco MeetingPlace Audio Server は、リストに記載されている招待された参加者に同時にアウトダイヤルし、それらの参加者を素早く会議に参加させます。この機能は、通常、早急に参加者を集めて会議を実施しなければならない危機管理状況で使用されます。
- Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3 では、チームを召集する速度を上げるために、最初のユーザが継続会議に参加するとすぐ、その会議からこのアウトダイヤルを自動的にトリガーできます。

IP ゲートウェイの複数のダイヤルグループ

- システム管理者は、用途ごとに異なるダイヤル番号を作成できます。たとえば、緊急会議用にある番号を作成し、一般的な会議用に別の番号を作成できます。この機能は、これまで TDM 構成のポートグループ設定を介して使用できましたが、IP 構成では使用できませんでした。
- Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3 では、Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway で複数のダイヤルグループを作成し、この構成モデルをサポートできます。

予約不要の会議の機能強化

予約不要のアクセスの簡略化

- このシステム設定では、予約不要のシステムだけの設定と、簡略化された telephony user interface (TUI; テレフォニー ユーザ インターフェイス) が提供されます。
- この設定が選択されている場合、TUI から次の機能を使用できません。
 - 電話機を介して将来の会議をスケジュールする。Cisco MeetingPlace Web Conferencing、Cisco MeetingPlace for Outlook、Cisco MeetingPlace for IBM Lotus Notes、および MeetingTime から、引き続きスケジュールできます。
 - プロファイル ユーザとして、標準のスケジュールされた会議に参加する。
- この設定を使用すると、スケジュールモードまたはスケジュールされた予約不要モードの場合よりもキーストローク数が 2 回少なくなります。

待合室から会議を開始する場合のキーストローク数の削減

- 予約不要の会議に DID アクセスを採用して TUI を簡略化したお客様の場合、この機能で使用するキーストローク数が以前より 1 回少なくなります。

予約不要の会議のパスワード (音声のみ)

- この機能では、会議を開始する直前に会議パスワードを設定できます。パスワード情報の通知が送信されないため、事前に参加者にこのパスワードを伝える必要があります。このオプションは、音声会議だけで使用できます。

サービサビリティの機能強化など

システム管理者のログイン情報が他のシスコ製品と互換性を持つ

- デフォルトの Cisco MeetingPlace ログイン ユーザー名およびパスワードが、他のシスコ製品と互換性を持つようになりました。

すべての製品にヌル モデム ケーブルが同梱されている

- シスコシステムズは、すべての Cisco MeetingPlace Audio Server にヌル モデム ケーブルを同梱しています。このケーブルは、すべての新しい Cisco MeetingPlace Audio Server が端末およびキーボードに接続する場合に必要です。

MeetingTime の機能強化

- MeetingTime を使用して、Cisco MeetingPlace システムのハードウェア設定やライセンス設定を含むシステム設定ファイルを生成できます。
- MeetingTime を使用して、Cisco MeetingPlace Audio Server システムのログを生成できます（以前は CLI コマンドからしか生成できませんでした）。
- MeetingTime にライセンス キーを 1 つずつロードするのではなく、Cisco MeetingPlace システムにライセンス ファイル全体をアップロードできます。

米国英語とイギリス英語の新しい音声プロンプト

- Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3 には、米国英語およびイギリス英語で新しいプロンプトが録音されています。これらの録音により、Cisco MeetingPlace 音声製品のすべてで一貫した操作性が確保されます。



(注)

独自のカスタム プロンプトを録音した場合は、このアップグレードによる影響を受けません。事前に追加料金にてお申し込みをいただいたお客様には、プロのナレーターによって、シスコ製品と同等のカスタマイズ プロンプトが提供されます。詳細については、ネットワーク コンサルタント エンジニアに問い合わせてください。なお、このプロンプトのカスタマイズは、現在日本ではサポートの対象外です。

参加者リストで ANI 情報を入手できる

- 会議に参加しているゲストの Automatic Number Identification (ANI; 自動番号識別または発信者番号) が、Cisco MeetingPlace Web Conferencing と MeetingTime の両方の参加者リストに表示されるようになりました。この機能は、特に、多くの会議参加者がゲストとして参加する場合に、特定の発信者の識別に役立ちます。

アップグレード パス

- アップグレード パスを使用して、Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.2.x または Release 5.1.x からアップグレードできます。また、変換ユーティリティを使用して、Cisco MeetingPlace PCI Audio Server Release 4.3.1 から移行することもできます。

その他の資料

その他の資料については、第 2 章「Cisco MeetingPlace Audio Server システムのマニュアル ロード マップ」を参照してください。



Cisco MeetingPlace Audio Server システムのマニュアルロードマップ

この章では、Cisco MeetingPlace Audio Server のマニュアルへのロードマップを示します。

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのマニュアルについて

次の一般的なガイドラインに従います。

- 技術者が Cisco MeetingPlace Audio Server システムをインストールまたはアップグレードする場合は、次の URL で『*Installation and Upgrade Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/53/53inst/index.htm>
- システム管理者が Cisco MeetingPlace Audio Server システムを設定する場合は、次の URL で『*Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/53/53config/index.htm>
- MeetingTime ユーザーが MeetingTime をインストールして使用する場合は、次の URL で『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/53/53ag/index.htm>
- Cisco MeetingPlace 会議のすべてのマニュアルの完全な情報については、次の URL で『*Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/roadmap.htm>

マニュアル ロードマップ

次の表に、Cisco MeetingPlace Audio Server システムの主なタスクと、そのタスクに関する詳細情報の参照先を示します。

表 2-1 Cisco MeetingPlace Audio Server システムのマニュアル ロードマップ

目的	参照するマニュアル
Cisco MeetingPlace Audio Server システムについて学ぶ	『 <i>Getting Started Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』(このマニュアル)の第 3 章
Cisco MeetingPlace Audio Server ハードウェアを設置する	『 <i>Installation and Upgrade Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 3 章
Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェアをインストールする	『 <i>Installation and Upgrade Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 4 章
Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェアを以前のリリースからアップグレードする	『 <i>Installation and Upgrade Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 5 章
Cisco MeetingPlace Audio Server システムのインストールをテストする	『 <i>Installation and Upgrade Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 6 章
Cisco MeetingPlace Audio Server ハードウェアの定期的な保守を実施する	『 <i>Installation and Upgrade Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 7 章
TCP/IP ネットワーク用に Cisco MeetingPlace LAN パラメータを設定する	『 <i>Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 2 章
Cisco MeetingPlace システムの時間帯を設定する	『 <i>Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 2 章
Cisco MeetingPlace システムの日時を設定する	『 <i>Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 2 章
MeetingTime を使用してポートを設定する	『 <i>Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 2 章
Cisco MeetingPlace システムでブレードを設定する	『 <i>Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 2 章
シャドウ サーバを設定する	『 <i>Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 3 章
Network Specific Facility(NSF)コードを設定する	『 <i>Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 4 章
技術者用のコマンドについて学ぶ	『 <i>Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の付録 A
MeetingTime について学ぶ	『 <i>Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 2 章
MeetingTime でユーザ プロファイルを設定する	『 <i>Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 3 章
MeetingTime を管理する	『 <i>Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 4 章
MeetingTime レポートを生成する	『 <i>Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 5 章
MeetingTime の定期的な保守を実施する	『 <i>Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 6 章
会議をスケジュールする、および会議に参加する	『 <i>Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3</i> 』の第 11 章

表 2-1 Cisco MeetingPlace Audio Server システムのマニュアル ロードマップ (続き)

目的	参照するマニュアル
MeetingTime をインストールする	『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3』の付録 A
MeetingTime のユーザ プロファイル パラメータ およびグループ プロファイル パラメータについて学ぶ	『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3』の付録 B
MeetingTime の使用量パラメータについて学ぶ	『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3』の付録 C
MeetingTime のスケジューリング パラメータについて学ぶ	『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3』の付録 D
Cisco MeetingPlace DCTS Add-in について学ぶ	『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3』の付録 J



Cisco MeetingPlace Audio Server システムについて

Cisco MeetingPlace Audio Server システムの構成には、Cisco MeetingPlace 8100 シリーズのハードウェア、Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェア、および追加のソフトウェア オプションを持つ Cisco MeetingPlace デスクトップソフトウェア コンポーネントが含まれます。

次の各項では、Cisco MeetingPlace 8100 シリーズのハードウェアについて説明します。

- [Cisco MeetingPlace 8106 のハードウェア特性 \(P.3-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace 8112 のハードウェア特性 \(P.3-3\)](#)
- [Cisco MeetingPlace 8100 シリーズのハードウェア コンポーネント \(P.3-4\)](#)
- [Cisco MeetingPlace 8106 のアラーム パネル \(P.3-6\)](#)
- [Cisco MeetingPlace 8112 のアラーム パネル \(P.3-7\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Audio Server システムの設定について \(P.3-8\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェア \(P.3-22\)](#)

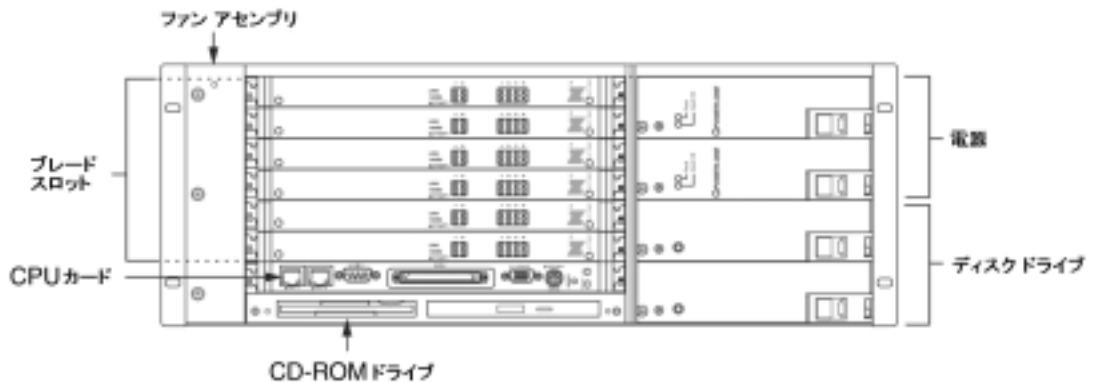
Cisco MeetingPlace 8106 のハードウェア特性

Cisco MeetingPlace 8106 は、ラックに設置可能なボックスで、高さ 7 インチ (約 17.8 cm)、幅 18.9 インチ (約 48 cm)、奥行き 14.5 インチ (約 36.8 cm) です。完全搭載時は、最大 40 ポンド (約 18.1 kg) の重量になります。

Cisco MeetingPlace 8106 には、CPU カード用のキャパシティ、電話網への物理的な接続を提供する Smart Blade または Multi Access Blade 用の 6 つのスロット、および 4 つのドライブ (2 つのディスクドライブ、1 つのフロッピー ドライブ、および 1 つの CD-ROM ドライブ) が備わっています。シャーシの前面で、CPU、Smart Blade、およびリダンダント電源を操作できます。LAN ケーブル、テレフォニー ケーブル、および IP ケーブルは背面に接続します。

図 3-1 に、Cisco MeetingPlace 8106 を示します。

図 3-1 Cisco MeetingPlace 8106 の機能 (前面図)



122280

Cisco MeetingPlace 8112 のハードウェア特性

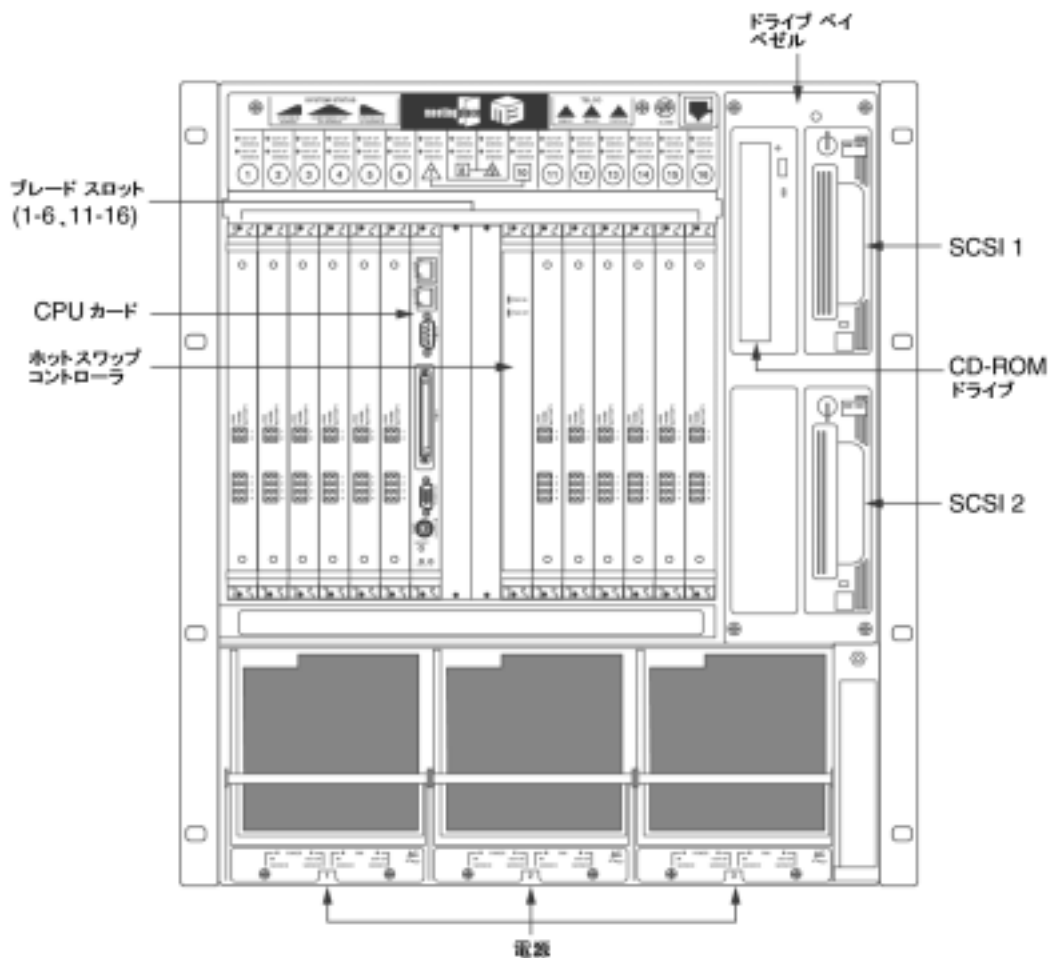
Cisco MeetingPlace 8112 は、ラックに設置可能なボックスで、高さ 21 インチ（約 53.3 cm）、幅 18.9 インチ（約 48 cm）です。完全搭載時は、最大 110 ポンド（約 49.9 kg）の重量になります。

Cisco MeetingPlace 8112 には、CPU カード用のキャパシティ、Hot Swap Controller（HSC; ホットスワップコントローラ）、電話網への物理的な接続を提供する Smart Blade または Multi Access Blade 用の 12 個のスロット、および 4 つのドライブ（2 つのディスクドライブ、1 つのフロッピードライブ、および 1 つの CD-ROM ドライブ）が備わっています。シャーシの前面で、CPU、Smart Blade、およびリダンダント電源を操作できます。LAN ケーブル、テレフォニーケーブル、および IP ケーブルは背面に接続します。

シャーシ前面の上部にあるアラームパネルは、メジャーアラーム、マイナーアラーム、およびシステムステータスを示します。アラームパネルの詳細については、P.3-6 の「Cisco MeetingPlace 8106 のアラームパネル」を参照してください。

図 3-2 に、Cisco MeetingPlace 8112 を示します。

図 3-2 Cisco MeetingPlace 8112 の機能（前面図）



122283

Cisco MeetingPlace 8100 シリーズのハードウェア コンポーネント

表 3-1 で、Cisco MeetingPlace 8100 シリーズのハードウェア コンポーネントについて説明します。

表 3-1 Cisco MeetingPlace Audio Server のハードウェア コンポーネント




コンポーネント	説明
取り付けキット	<p>Cisco MeetingPlace Audio Server を次のいずれかのラックに取り付けるために必要な機械的なコンポーネント。</p> <ul style="list-style-type: none"> 19 インチ (約 48.3 cm) の EIA-310 ラック (米国とカナダ) 19 インチ (約 48.3 cm) のフレーム リレー ラック <p> (注) Cisco MeetingPlace 8112 は、23 インチ (約 58.4 cm) のラックに取り付けることもできます。</p>
CD-ROM ドライブ	<p>CD-ROM ドライブは、ソフトウェア アップグレードのインストールに使用します。</p>
Smart Blade	<p>電話網に物理的に接続するために必要なコンポーネント。次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> Smart Blade : シスコ独自の高性能会議カード。デジタル信号処理を提供し、非常に高い音声品質および優れた会議機能を保証します。1 つのカードで、Port Resource Card (PRC) と Master Switch Controller (MSC) の両方の機能を提供します。 <p> (注) Multi Access Blade は会議機能を提供しないため、IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> T1 Smart Blade : シスコ独自の高性能会議カード。デジタル信号処理を提供し、非常に高い音声品質および優れた会議機能を保証します。PRC と MSC の両方の制御機能、およびデジタル T1 電話回線に必要なトランク インターフェイス機能を提供します。この Smart Blade は、E&M ウィンクスタート、ループスタート、およびグランドスタート コール監視を使用して、最大 4 つの T1 スパン (96 の電話コール) に接続する機能も提供します。
Multi Access Blade	<p>Multi Access Blade は、IP ベースのテレフォニーに必要なイーサネット インターフェイスを組み込むことにより Smart Blade の機能を強化します。この機能を完全に利用するには、Cisco MeetingPlace H.323/SIP IPGW が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> MP-MA-4 : T1 PRI、E1、および IP ベースのテレフォニーに必要なトランク インターフェイス カード機能を搭載しています。T1 PRI の場合、MP-MA-4-PRI は AT&T、Bell、および Nortel の各プロトコルをサポートしています。E1 の場合、MP-MA-4-PRI は Euro ISDN および QSIG の各プロトコルをサポートしています。IP の場合、MP-MA-4 は G.711 および G.729a の各音声エンコーディングをサポートしています。1 つの MP-MA-4 につき 1 つ以上の Smart Blade が必要です。MP-MA-4 は、最大 4 つの PSTN スパンをサポートします。 MP-MA-16 : T1 PRI、E1、および IP ベースのテレフォニーに必要なトランク インターフェイス カード機能を搭載しています。T1 PRI の場合、MP-MA-16-PRI は AT&T、Bell、および Nortel の各プロトコルをサポートしています。E1 の場合、MP-MA-16-PRI は Euro ISDN および QSIG の各プロトコルをサポートしています。IP の場合、MP-MA-16 は G.711 および G.729a の各音声エンコーディングをサポートしています。1 つの MP-MA-16 につき 1 つ以上の Smart Blade が必要です。MP-MA-16 は、最大 16 個の PSTN スパンをサポートします。 <p> (注) Cisco MeetingPlace 8106 がスロット 1 の 1 つの PSTN 用 (つまり、T1 PRI または E1 の) MP-MA-4-PRI だけを使用する場合、Cisco MeetingPlace Audio Server システムの出荷時に、スロット 2 が予約されます。</p>

表 3-1 Cisco MeetingPlace Audio Server のハードウェア コンポーネント (続き)

コンポーネント	説明
ブレイクアウトボックスとケーブル	ブレイクアウトボックスは、E1 および T1 PRI Cisco MeetingPlace システムに対応する標準 RJ-45 テレフォニー インターフェイスを提供します。ブレイクアウトボックスは、最大 16 本のケーブルにインターフェイスします。各 MP-MA-16-PRI をブレイクアウトボックスに接続するために、Cisco MeetingPlace Audio Server システムに付属の MP-MA-16-PRI ごとに、16 本のテレフォニー ケーブルと 2 本のトランク インターフェイス ケーブル (50 ピンのアンフェノール コネクタ) が同梱されています。各 MP-MA-4-PRI をブレイクアウトボックスに接続するために、Cisco MeetingPlace Audio Server システムに付属の MP-MA-4-PRI ごとに、4 本のテレフォニー ケーブルと 1 本のトランク インターフェイス ケーブル (50 ピンのアンフェノール コネクタ) が同梱されています。
システム データベース ディスク	<p>Cisco MeetingPlace システムには、Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェアおよび Cisco MeetingPlace システム データベース用に 36 GB のハード ドライブが 2 つ用意されています。各ドライブで領域が等しく割り当てられているため、データベースおよびシステムの追加領域は、次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> システム データベース ディスク 1: 最大 500 MB のプライマリ システム ファイル、800 MB の一時作業領域、およびディスク 2 からの自動データベース バックアップを格納するための 5 GB の代替領域をサポートします。22 GB の追加ストレージおよびユーザ名と会議名もディスク 1 に含まれています。 システム データベース ディスク 2: 最大 500 MB の代替システム ファイル、800 MB の一時作業領域、およびディスク 1 からの自動データベース バックアップを格納するための 5 GB の代替領域をサポートします。22 GB の追加ストレージおよびユーザ名と会議名もディスク 2 に含まれています。
ネットワーク インターフェイス	CPU トランジション モジュール上の 10/100 イーサネット ポートのペア。最初のポートは、プライマリ ネットワーク インターフェイスとして使用されます (2 番目のネットワーク インターフェイスは、この時点では使用されません)。
外部モデム	Cisco MeetingPlace システムには、シリアル ケーブルによって Cisco MeetingPlace Audio Server に接続される外部モデムがあります。モデム ケーブルは、Cisco MeetingPlace Audio Server の背面にある COM2 コネクタから CPU トランジション モジュールに接続されます。

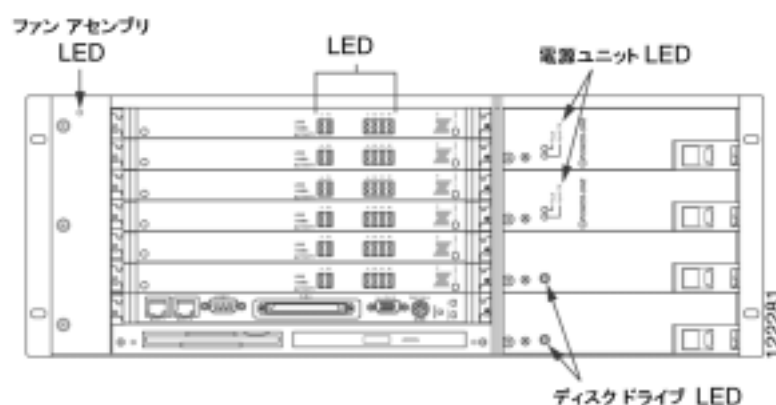
Cisco MeetingPlace 8106 のアラーム パネル

Cisco MeetingPlace 8106 には、表 3-2 に示すように、3 つのタイプの LED があります。Cisco MeetingPlace 8106 の LED の場所については、図 3-3 を参照してください。

表 3-2 Cisco MeetingPlace 8106 の LED の説明

コンポーネント	LED の色	意味
ファン アセンブリ	<ul style="list-style-type: none"> なし 赤 	<ul style="list-style-type: none"> ファン アセンブリが正常に動作しています。または正しく差し込まれていません。 ファン アセンブリが正常に動作していません。
ディスクドライブ	<ul style="list-style-type: none"> 緑 なし 	<ul style="list-style-type: none"> Cisco MeetingPlace 8106 がディスク ドライブにアクセスしています。 Cisco MeetingPlace 8106 がディスク ドライブにアクセスしていません。
電源ユニット	<ul style="list-style-type: none"> 両方緑 両方赤 両方なし 一方が緑、もう一方が赤 一方が緑、もう一方がなし 一方が赤、もう一方がなし 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ユニットが正常に動作しています。 どちらの電源ユニットも正常に動作していません。できる限り早く Cisco MeetingPlace 8106 の電源を切り、すべてのカード、フロッピー ドライブと CD-ROM ドライブの収容ユニット、およびディスク ドライブを取り外してください。 Cisco MeetingPlace 8106 の電源が切れています。または両方の電源ユニットが正しく差し込まれていません。 一方の電源ユニットは正常に動作していますが、もう一方の電源ユニットは異常か、または正しく差し込まれていません。 一方の電源ユニットは正常に動作していますが、もう一方の電源ユニットは異常か、または正しく差し込まれていません。 一方の電源ユニットは異常で、もう一方の電源ユニットは正しく差し込まれていません。

図 3-3 Cisco MeetingPlace 8106 の LED の場所



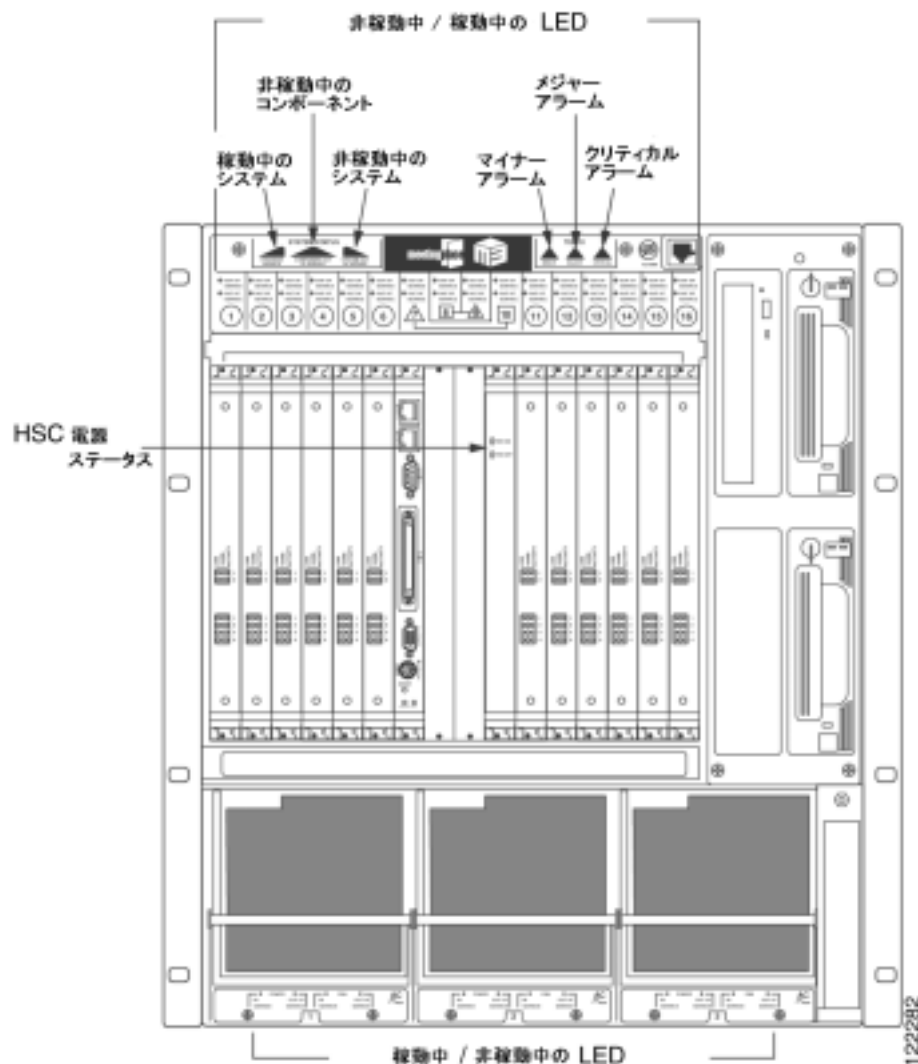
Cisco MeetingPlace 8112 のアラーム パネル

Cisco MeetingPlace 8112 の場合、前面上部のパネルにシステム LED があります。これらの LED の詳細については、表 3-3 を参照してください。Cisco MeetingPlace 8112 の LED の場所については、図 3-4 を参照してください。

表 3-3 Cisco MeetingPlace 8112 の LED の説明

コンポーネント	意味
稼働中のシステム	オンである場合は、Cisco MeetingPlace システムが稼働中であることを示します。
非稼働中のコンポーネント	オンである場合は、非稼働中のコンポーネントがあることを示します。アラーム テーブルを調べます。
非稼働中のシステム	オンである場合は、Cisco MeetingPlace システムが非稼働中であることを示します。
Telco メジャー アラーム	オンである場合は、サービスに影響を及ぼす Telco 問題が発生している可能性があることを示します。アラーム テーブルを調べます。
Telco マイナー アラーム	オンである場合は、サービスに影響を及ぼさない小さな Telco 問題が発生している可能性があることを示します。アラーム テーブルを調べます。
Telco クリティカルアラーム	未使用。無視してください。

図 3-4 Cisco MeetingPlace 8112 の LED の場所



Cisco MeetingPlace Audio Server システムの設定について

この項では、Cisco MeetingPlace Audio Server システムのさまざまなブレード設定の例を示します。MeetingPlace Audio Server を設定する方法の詳細については、『*Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。

Cisco MeetingPlace 8106 には Smart Blade、T1 Smart Blade、または Multi Access Blade 用の 6 つのポートが搭載され、Cisco MeetingPlace 8112 には Smart Blade、T1 Smart Blade、または Multi Access Blade 用の 12 個のポートが搭載されています。

表 3-4 に、各ブレードでサポートされているアクセスポートの数を示します。



(注) E1、T1 PRI、および IP ベースのテレフォニーでは、少なくとも 1 つの Multi Access Blade と 1 つの Smart Blade が必要です。

表 3-4 ブレードおよびブレードがサポートするアクセスポートの数

ブレード	ブレードがサポートするアクセスポートの数
T1 Smart Blade または Smart Blade	96
E1 の MP-MA-16-PRI	480
T1 PRI の MP-MA-16-PRI	368
IP の MP-MA-16	480
E1 の MP-MA-4-PRI	120
T1 PRI の MP-MA-4-PRI	92
IP の MP-MA-4	120



(注) 混合プロトコルは、IP ポートと組み合わせる場合にだけサポートされます。たとえば、Cisco MeetingPlace システムには、T1 ポートと E1 ポートの両方を設定することはできませんが、T1 ポート (PRI または CAS) と IP ポート、または E1 ポートと IP ポートを設定することはできます。また、Cisco MeetingPlace システムには、T1 CAS および T1 PRI ポートを設定することもできません。表 3-5 を参照してください。

表 3-5 ブレード設定の可否

設定不可	設定可能
T1 CAS および E1	T1 PRI および IP
T1 PRI および E1	E1 および IP
T1 PRI および T1 CAS	T1 CAS および IP



(注) Cisco MeetingPlace Audio Server は、E1 PRI だけをサポートしています。E1 CAS テレフォニーインターフェイスは提供していません。

Cisco MeetingPlace 8106 の設定

Cisco MeetingPlace 8106 のサポート要件は次のとおりです。

- T1 CAS Cisco MeetingPlace システムでは、最大 576 ポート
- T1 PRI Cisco MeetingPlace システムでは、最大 368 ポート（米国およびカナダ）
- E1 Cisco MeetingPlace システムでは、最大 480 ポート
- 最大 480 IP ポート（ボコーダの G.711（A-law と u-law）と G.729a、およびシグナリングの H.323 と SIP をサポートしています）
- ノンブロッキング N/2 同時会議
- ミックスアンドマッチ方式の T1 および IP のエンドポイント
- ミックスアンドマッチ方式の E1 および IP のエンドポイント

表 3-6 に、各プロトコルで許可されるポートとブレードの設定、およびその実現に使用されるハードウェアを示します。

表 3-6 Cisco MeetingPlace 8106 で許可されるブレード設定

プロトコル	最大ポート数	ハードウェア設定
T1 CAS	576	6 個の T1 Smart Blade
E1	480	5 個の Smart Blade と 1 個の MP-MA-16-PRI
T1 PRI	368	4 個の Smart Blade と 1 個の MP-MA-16-PRI
IP	480	5 個の Smart Blade と 1 個の MP-MA-16

T1 CAS Smart Blade、T1 PRI Multi Access Blade、および E1 Multi Access Blade は、一番下のスロット 1 から順に上に向かって設置されます。IP Multi Access Blade は、一番上のスロット 6 から順に下に向かって設置されます。

例：T1 CAS 設定

表 3-7 に、576 個のポートを持つ純粋な T1 CAS 設定を示します。各スロットには、T1 Smart Blade（SB と記載）が搭載されています。各 T1 Smart Blade は 96 個のポートを提供しており、6 つの T1 Smart Blade があります（ $96 \times 6 = 576$ ）。

表 3-7 純粋な T1 CAS 設定、576 個の T1 CAS ポート

スロット	ブレード
6	SB
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	SB

例：T1 PRI 設定

表 3-8 に、368 個の T1 PRI ポートを持つ純粋な T1 PRI 設定を示します。スロット 1 の MP-MA-16-PRI は 368 個の T1 PRI ポートを提供しています。Multi Access Blade は会議機能を提供しないため、96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。スロット 2 ~ 4 のすべてのポート (3 x 96 = 288) およびスロット 5 の 80 ポートが会議用として使用されます。

表 3-8 純粋な T1 PRI 設定、368 個の T1 CAS ポート

スロット	ブレード
6	
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	MP-MA-16-PRI

例：純粋な IP 設定

表 3-9 に、480 個の IP ポートを持つ純粋な IP 設定を示します。スロット 6 の MP-MA-16 は、480 個の IP ポートを提供しています。Multi Access Blade は会議機能を提供しないため、IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。スロット 1 ~ 5 の 480 ポート (5 x 96 = 480) が IP 会議用として使用されます。

表 3-9 純粋な IP 設定、480 個の IP ポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-16
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	SB

例：T1 CAS と IP の混合設定

表 3-10 ~ 表 3-13 に、T1 CAS と IP の混合設定の例を示します。IP ポートの数によっては、T1 CAS トランクが設定される場合と設定されない場合があります。各表に記載されている SB は T1 Smart Blade です。

表 3-10 では、スロット 6 の MP-MA-4 が 120 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 5 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 4 の Smart Blade は 96 ポートのうち 24 ポートを使用します ($96 + 24 = 120$)。スロット 4 の残りの 72 ポート ($96 - 24$ (IP 会議用として使用されるポート)) とスロット 1 ~ 3 のポート ($3 \times 96 = 288$) は、T1 CAS 部分の設定に使用されます ($288 + 72 = 360$)。

表 3-10 120 個の IP ポート、360 個の T1 CAS ポート、合計 480 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-4
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	SB

表 3-11 では、スロット 6 の MP-MA-4 が 96 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 5 の Smart Blade は 96 ポートを使用します。スロット 1 ~ 4 のポート ($96 \times 4 = 384$) は、T1 CAS 部分の設定に使用されます。

表 3-11 96 個の IP ポート、384 個の T1 CAS ポート、合計 480 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-4
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	SB

表 3-12 では、スロット 6 の MP-MA-16 が 240 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 4 と 5 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 3 の Smart Blade は 96 ポートのうち 48 ポートを使用します ($96 + 96 + 48 = 240$)。スロット 3 の残りの 48 ポート ($96 - 48$ (IP 会議用として使用されるポート)) とスロット 1 と 2 のポート ($2 \times 96 = 192$) は、T1 CAS 部分の設定に使用されます ($48 + 192 = 240$)。

表 3-12 240 個の IP ポート、240 個の T1 CAS ポート、合計 480 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-16
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	SB

表 3-13 では、スロット 6 の MP-MA-16 が 360 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 3 ~ 5 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 2 の Smart Blade は 96 ポートのうち 72 ポートを使用します ($3 \times 96 = 288 + 72 = 360$)。スロット 2 の残りの 24 ポート ($96 - 72$ (IP 会議用として使用されるポート)) とスロット 1 の 96 ポートは、T1 CAS 部分の設定に使用されます ($24 + 96 = 120$)。

表 3-13 360 個の IP ポート、120 個の T1 CAS ポート、合計 480 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-16
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	SB

例：T1 PRI と IP の混合設定

表 3-14 ~ 表 3-17 に、T1 PRI と IP の混合設定の例を示します。IP Multi Access Blade は、一番上のスロット 6 から順に下に向かって設置されます。

表 3-14 では、スロット 6 の MP-MA-4 が 120 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 4 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 3 の Smart Blade は 96 ポートのうち 24 ポートを使用します (96 + 24 = 120)。スロット 1 の MP-MA-4-PRI は 92 個の T1 PRI ポートを提供しています。スロット 2 の Smart Blade は、96 ポートのうち 92 ポートを会議用として使用します。

表 3-14 120 個の IP ポート、92 個の T1 PRI ポート、合計 212 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-4
5	
4	SB
3	SB
2	SB
1	MP-MA-4-PRI

表 3-15 では、スロット 6 の MP-MA-4 が 120 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 5 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 4 の Smart Blade は 96 ポートのうち 24 ポートを使用します (96 + 24 = 120)。スロット 1 の MP-MA-16-PRI は 253 個の T1 PRI ポートを提供しています。会議用として、スロット 2 と 3 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 4 の Smart Blade は 72 ポートのうち 61 ポートを使用します (スロット 4 の Smart Blade はそのポートのうち 24 ポートを IP 部分の設定に使用し、61 ポートを T1 PRI 部分の設定に使用します)。

表 3-15 120 個の IP ポート、253 個の T1 PRI ポート、合計 373 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-4
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	MP-MA-16-PRI

表 3-16 では、スロット 6 の MP-MA-16 が 240 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 4 と 5 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 3 の Smart Blade は 96 ポートのうち 48 ポートを使用します ($96 + 96 + 48 = 240$)。スロット 1 の MP-MA-4-PRI は 92 個の T1 PRI ポートを提供しています。スロット 2 の Smart Blade は、96 ポートのうち 92 ポートを会議用として使用します。

表 3-16 240 個の IP ポート、92 個の T1 PRI ポート、合計 332 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-16
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	MP-MA-4-PRI

表 3-17 では、スロット 6 の MP-MA-16 が 180 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 5 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 4 の Smart Blade は 96 ポートのうち 84 ポートを使用します ($96 + 84 = 180$)。スロット 1 の MP-MA-4-PRI は 92 個の T1 PRI ポートを提供しています。スロット 2 の Smart Blade は、96 ポートのうち 92 ポートを会議用として使用します。

表 3-17 180 個の IP ポート、92 個の T1 PRI ポート、合計 272 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-16
5	SB
4	SB
3	
2	SB
1	MP-MA-4-PRI

例：E1 設定

E1 Multi Access Blade がスロット 1 に設置され、その後に Smart Blade が設置されます。表 3-18 に、480 個の E1 ポートを持つ純粋な E1 設定を示します。スロット 1 の MP-MA-16-PRI は 480 個の E1 ポートを提供しています。スロット 2 ~ 6 の各 Smart Blade には、それぞれ 96 個のポート (96 x 5 = 480) があり、これらのポートは会議用として使用されます。この表に記載されている SB は Smart Blade です。

表 3-18 純粋な E1 設定、480 個の E1 ポート

スロット	ブレード
6	SB
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	MP-MA-16-PRI

例：E1 と IP の混合設定

E1 Multi Access Blade がスロット 1 に設置され、その後に Smart Blade が設置されます。IP Multi Access Blade はスロット 6 に設置されます。

表 3-19 ~ 表 3-21 に、E1 と IP の混合設定の例を示します。実装される IP Multi Access Blade の数によっては、Multi Access Blade の E1 トランクが設定される場合と設定されない場合があります。次の表に記載されている SB は Smart Blade です。

表 3-19 では、スロット 6 の MP-MA-4 が 120 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 4 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 3 の Smart Blade は 96 ポートのうち 24 ポートを使用します (96 + 24 = 120)。スロット 1 の MP-MA-4-PRI は 120 個の E1 ポートを提供しています。スロット 3 の残りの 72 ポート (96 - 24 (IP 会議用として使用されるポート)) とスロット 2 の 48 ポート (72 + 48 = 120) は、E1 部分の設定に使用されます。

表 3-19 120 個の IP ポート、120 個の E1 ポート、合計 240 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-4
5	
4	SB
3	SB
2	SB
1	MP-MA-4-PRI

表 3-20 では、スロット 6 の MP-MA-4 が 120 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 5 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 4 の Smart Blade は 96 ポートのうち 24 ポートを使用します ($96 + 24 = 120$)。スロット 1 の MP-MA-16-PRI は 240 個の E1 ポートを提供しています。会議用として、スロット 2 と 3 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 4 の Smart Blade は残りの 72 ポートのうち 48 ポートを使用します ($96 + 96 + 48 = 240$)。スロット 4 の Smart Blade はそのポートのうち 24 ポートを IP 部分の設定に使用し、48 ポートを E1 部分の設定に使用します。

表 3-20 120 個の IP ポート、240 個の E1 ポート、合計 360 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-4
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	MP-MA-16-PRI

表 3-21 では、スロット 6 の MP-MA-16 が 240 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 4 と 5 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 3 の Smart Blade は 96 ポートのうち 48 ポートを使用します ($96 + 96 + 48 = 240$)。スロット 1 の MP-MA-4-PRI は 120 個の E1 ポートを提供しています。会議用として、スロット 2 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 3 の Smart Blade は残りの 48 ポートのうち 24 ポートを使用します ($96 + 24 = 120$)。スロット 4 の Smart Blade はそのポートのうち 48 ポートを IP 部分の設定に使用し、24 ポートを E1 部分の設定に使用します。

表 3-21 240 個の IP ポート、120 個の E1 ポート、合計 360 個のポート

スロット	ブレード
6	MP-MA-16
5	SB
4	SB
3	SB
2	SB
1	MP-MA-4-PRI

Cisco MeetingPlace 8112 の設定

Cisco MeetingPlace 8112 のサポート要件は次のとおりです。

- T1 CAS Cisco MeetingPlace システムでは、最大 1152 ポート
- T1 PRI Cisco MeetingPlace システムでは、最大 736 ポート（米国およびカナダ）
- E1 Cisco MeetingPlace システムでは、最大 960 ポート
- 最大 960 IP ポート（ボコーダの G.711（A-law と u-law）と G.729a、およびシグナリングの H.323 と SIP をサポートしています）
- ノンブロッキング N/2 同時会議
- ミックスアンドマッチ方式の T1 および IP のエンドポイント
- ミックスアンドマッチ方式の E1 および IP のエンドポイント

表 3-22 に、各プロトコルで許可されるポートとブレードの設定、およびその実現に使用されるハードウェアを示します。

表 3-22 Cisco MeetingPlace 8112 で許可されるブレード設定

プロトコル	最大ポート数	ハードウェア設定
T1 CAS	1152	12 個の T1 Smart Blade
E1	960	10 個の Smart Blade と 2 個の MP-MA-16-PRI
T1 PRI	736	8 個の Smart Blade と 2 個の MP-MA-16-PRI
IP	960	10 個の Smart Blade と 2 個の MP-MA-16

T1 PRI および E1 Multi Access Blade は左側に設置されます（MP-MA-16-PRI も MP-MA-4-PRI もスロット 2 に差し込む必要がない場合、およびスロット 2 が Smart Blade キャパシティに必要な場合、スロット 2 は空いたままになります）。次に、この右側に T1 Smart Blade が設置されます。最後に、IP Multi Access Blade が右側（スロット 16）から順に左に向かって設置されます。



(注)

Cisco MeetingPlace 8112 のすべての設定で、スロット 7 ~ 10 は、CPU カードおよびシステムコントローラカード用に予約されています。

例：T1 CAS 設定

表 3-23 に、1152 個の T1 CAS ポートを持つ純粋な T1 CAS 設定を示します。各スロット（CPU カードおよびシステムコントローラカード用に予約されているスロット 7 ~ 10 を除く）には、T1 Smart Blade（SB と記載）が搭載されています。各 T1 Smart Blade は 96 ポートのキャパシティを持ち、12 個の T1 Smart Blade があります（96 x 12 = 1152）。

表 3-23 純粋な T1 CAS 設定、1152 個の T1 CAS ポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB

例：T1 PRI 設定

表 3-24 に、736 個の T1 PRI ポートを持つ純粋な T1 PRI 設定を示します。スロット 1 と 2 の MP-MA-16-PRI はそれぞれ 368 個の T1 PRI ポートを提供しています ($368 \times 2 = 736$)。スロット 3 ~ 13 のポート ($7 \times 96 = 672$) およびスロット 14 の 64 ポートが会議用として使用されます ($672 + 64 = 736$)。

表 3-24 純粋な T1 PRI 設定、736 個の T1 PRI ポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	MP-MA-16-PRI	MP-MA-16-PRI	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB		

例：純粋な IP 設定

表 3-25 に、960 個の IP ポートを持つ純粋な IP 設定を示します。右側に 2 つの MP-MA-16 が搭載されており、これらはそれぞれ 480 個の IP ポートをサポートします ($2 \times 480 = 960$)。Multi Access Blade は会議機能を提供しないため、IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。スロット 1 ~ 6 およびスロット 11 ~ 14 のそれぞれには、96 ポートのキャパシティを持つ Smart Blade が搭載されています。

表 3-25 純粋な IP 設定、960 個の IP ポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	MP-MA-16	MP-MA-16

例：T1 CAS と IP の混合設定

表 3-26 ~ 表 3-29 に、T1 CAS と IP の混合設定の例を示します。IP ポートの数によっては、T1 CAS トランクが設定される場合と設定されない場合があります。各表に記載されている SB は T1 Smart Blade です。

表 3-26 では、スロット 16 の MP-MA-4 が 120 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 15 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 14 の Smart Blade は 96 ポートのうち 24 ポートを使用します ($96 + 24 = 120$)。スロット 14 の残りの 72 ポート ($96 - 24$ (IP 会議用として使用されるポート)) とスロット 1 ~ 6 および 11 ~ 13 のポート ($9 \times 96 = 864$) は、T1 CAS 部分の設定に使用されます ($864 + 72 = 936$)。

表 3-26 120 個の IP ポート、936 個の T1 CAS ポート、合計 1056 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	MP-MA-4

表 3-27 では、スロット 16 の MP-MA-16 が 480 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 11 ~ 15 の Smart Blade は 480 ポート ($96 \times 5 = 480$) を使用します。スロット 1 ~ 6 には、それぞれが 96 ポートを持つ T1 Smart Blade が搭載され ($6 \times 96 = 576$ ポート)、T1 CAS 設定をサポートしています。

表 3-27 480 個の IP ポート、576 個の T1 CAS ポート、合計 1056 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	MP-MA-16

表 3-28 では、スロット 15 と 16 の 2 つの MP-MA-4 が、それぞれ 120 個の IP ポートを提供しています ($2 \times 120 = 240$)。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 13 と 14 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 12 の Smart Blade は 96 ポートのうち 48 ポートを使用します ($96 + 96 + 48 = 240$)。スロット 12 の残りの 48 ポート ($96 - 48$ (IP 会議用として使用されるポート)) とスロット 1 ~ 6 および 11 のポート ($7 \times 96 = 672$) は、T1 CAS 部分の設定に使用されます ($672 + 48 = 720$)。

表 3-28 240 個の IP ポート、720 個の T1 CAS ポート、合計 960 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	MP-MA-4	MP-MA-4

表 3-29 では、スロット 16 の MP-MA-16 が 480 個の IP ポートを提供し、スロット 15 の MP-MA-4 が 120 個の IP ポートを提供しています (合計 600 個の IP ポート)。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 5 ~ 14 の Smart Blade は 576 ポートを使用し、スロット 4 の Smart Blade は 96 ポートのうち 24 ポートを使用します ($96 \times 6 = 576 + 24 = 600$)。スロット 4 の残りの 72 ポート ($96 - 24$ (IP 会議用として使用されるポート)) とスロット 1 ~ 3 のポート ($3 \times 96 = 288$) は、T1 CAS 部分の設定に使用されます ($288 + 72 = 360$)。

表 3-29 600 個の IP ポート、360 個の T1 CAS ポート、合計 960 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	MP-MA-4	MP-MA-16

例：T1 PRI と IP の混合設定

表 3-30 および表 3-31 に、T1 PRI と IP の混合設定の例を示します。各表に記載されている SB は T1 Smart Blade です。IP 部分の設定に使用される Multi Access Blade は右側 (スロット 16) に搭載され、T1 PRI 部分の設定に使用される Multi Access Blade は左側 (スロット 1) に搭載されています。

表 3-30 では、スロット 16 の MP-MA-16 が 480 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 3 ~ 11 の Smart Blade は 480 ポート ($96 \times 5 = 480$) を使用します。スロット 1 の MP-MA-4-PRI は 92 個の T1 PRI ポートを提供しています。会議用として、スロット 2 の Smart Blade は 96 ポートのうち 92 ポートを使用します。

表 3-30 480 個の IP ポート、92 個の T1 PRI ポート、合計 572 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	MP-MA-4-PRI	SB	SB	SB	SB	SB	SB					MP-MA-16

表 3-31 では、スロット 16 の MP-MA-16 が 480 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 6 ~ 14 の Smart Blade は 480 ポート ($96 \times 5 = 480$) を使用します。スロット 1 の MP-MA-16-PRI は 368 個の T1 PRI ポートを提供しています。会議用として、スロット 2 ~ 4 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 5 の Smart Blade は 96 ポートのうち 80 ポートを使用します ($3 \times 96 = 288 + 80 = 368$)。

表 3-31 480 個の IP ポート、368 個の T1 PRI ポート、合計 848 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	MP-MA-16-PRI	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB		MP-MA-16

例：純粋な E1 設定

E1 Multi Access Blade がスロット 1 から順に右に向かって設置され、その後に Smart Blade が設置されます。表 3-32 に、960 個の E1 ポートを持つ純粋な E1 設定を示します。スロット 1 と 2 の 2 つの MP-MA-16-PRI は、それぞれ 480 個の E1 ポートを提供しています ($480 \times 2 = 960$)。スロット 3 ~ 16 の各 Smart Blade には、それぞれ 96 個のポート ($96 \times 10 = 960$) があり、これらのポートは会議用として使用されます。

この表に記載されている SB は Smart Blade です。

表 3-32 純粋な E1 設定、960 個の E1 ポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	MP-MA-16-PRI	MP-MA-16-PRI	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB

例：E1 と IP の混合スロット設定

E1 Multi Access Blade がスロット 1 から順に右に向かって設置され、その後に Smart Blade が設置されます。IP Multi Access Blade は、スロット 16 から順に左に向かって設置されます。

表 3-33 ~ 表 3-36 に、E1 と IP の混合設定の例を示します。実装される IP Multi Access Blade の数によっては、Multi Access Blade の E1 トランクが設定される場合と設定されない場合があります。次の表に記載されている SB は Smart Blade です。

表 3-33 では、スロット 16 の MP-MA-4 が 120 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 12 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 11 の Smart Blade は 96 ポートのうち 24 ポートを使用します ($96 + 24 = 120$)。スロット 1 の MP-MA-16-PRI は 480 個の E1 ポートを提供しています。スロット 11 の残りの 72 ポート ($96 - 24$ (IP 会議用として使用されるポート)) とスロット 2 ~ 6 のポート ($5 \times 96 = 480$) は、E1 部分の設定に使用されます ($5 \times 96 = 480$)。

表 3-33 120 個の IP ポート、480 個の E1 ポート、合計 600 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	MP-MA-16-PRI	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB				MP-MA-4

表 3-34 では、スロット 16 の MP-MA-16 が 480 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 11 ~ 15 の Smart Blade は 480 ポート ($96 \times 5 = 480$) を使用します。スロット 1 の MP-MA-16-PRI は 480 個の E1 ポートを提供しています。スロット 2 ~ 6 のポート ($5 \times 96 = 480$) は、E1 部分の設定に使用されます。

表 3-34 480 個の IP ポート、480 個の E1 ポート、合計 960 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	MP-MA-16-PRI	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB	MP-MA-16

表 3-35 では、スロット 16 の MP-MA-16 が 480 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 4 ~ 12 の Smart Blade は 96 ポート (96 x 5 = 480) を使用します。スロット 1 の MP-MA-4-PRI は 120 個の E1 ポートを提供しています。スロット 2 の 96 ポートとスロット 3 の 24 ポートは、E1 部分の設定に使用されます (96 + 24 = 120)。

表 3-35 480 個の IP ポート、120 個の E1 ポート、合計 600 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	MP-MA-4-PRI	SB	SB	SB	SB	SB	SB	SB				MP-MA-16

表 3-36 では、スロット 6 の MP-MA-4 が 120 個の IP ポートを提供しています。IP ポートには 96 ポートごとに 1 つの Smart Blade が必要です。IP 会議用として、スロット 4 の Smart Blade は 96 ポートを使用し、スロット 3 の Smart Blade は 96 ポートのうち 24 ポートを使用します (96 + 24 = 120)。スロット 1 の MP-MA-4-PRI は 120 個の E1 ポートを提供しています。スロット 2 の 96 ポートとスロット 3 の未使用のポートのうち 24 ポートは、E1 部分の設定に使用されます (96 + 24 = 120)。

表 3-36 120 個の IP ポート、120 個の E1 ポート、合計 240 個のポート

スロット	1	2	3	4	5	6	11	12	13	14	15	16
ブレード	MP-MA-4-PRI	SB	SB	SB								MP-MA-4

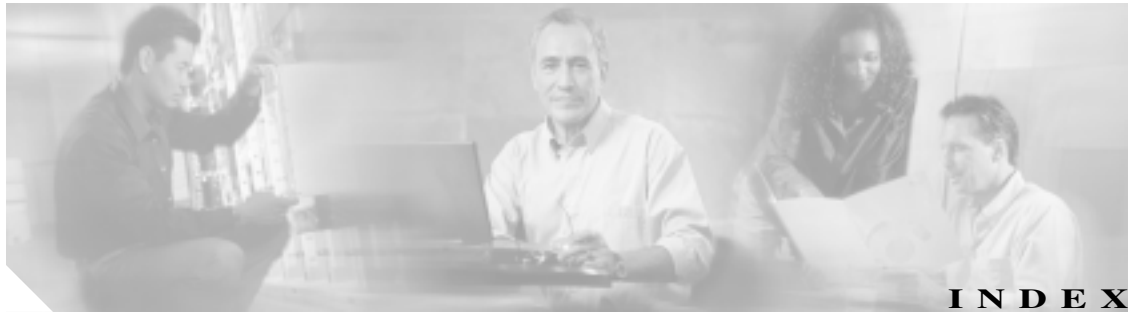
Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェア

Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェアの Release 5.3 は、サーバとクライアントの間でコンピューティング タスクを分割するクライアント サーバ アーキテクチャを使用します。Cisco MeetingPlace システム データベース ディスク上に存在するソフトウェアは、次のもので構成されません。

- リアルタイム中心のアプリケーション用に特別に設計されたリアルタイム UNIX/POSIX 互換オペレーティング システム
- 次のようなシステム ソフトウェア
 - Cisco MeetingPlace アプリケーション ソフトウェア
 - すべての会議情報およびプロフィール情報を格納するためのリレーショナル SQL データベース
 - Cisco MeetingPlace オプション

デスクトップ ソフトウェアは、デスクトップ コンピュータにインストールされます。このソフトウェアは、LAN または WAN 経由で Cisco MeetingPlace システムと通信します。

Release 5.3 のすべての Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェア オプションのリストについては、『*Installation Planning Guide for Cisco MeetingPlace Release 5.3*』を参照してください。



C		L	
CD-ROM ドライブ		LAN	3-22
説明	3-4	LED	
Cisco MeetingPlace 8106		Cisco MeetingPlace 8112	
LED		Telco マイナー アラーム	3-7
ディスク ドライブ	3-6	Cisco MeetingPlace 8106	
電源ユニット	3-6	ディスク ドライブ	3-6
ファン アセンブリ	3-6	電源ユニット	3-6
許可されるポートの最大数	3-9	ファン アセンブリ	3-6
説明	3-2	Cisco MeetingPlace 8112	
Cisco MeetingPlace 8112		Telco クリティカル アラーム	3-7
LED		Telco メジャー アラーム	3-7
Telco クリティカル アラーム	3-7	稼働中のシステム	3-7
Telco マイナー アラーム	3-7	非稼働中のコンポーネント	3-7
Telco メジャー アラーム	3-7	非稼働中のシステム	3-7
稼働中のシステム	3-7	電源ユニット	3-6
非稼働中のコンポーネント	3-7		
非稼働中のシステム	3-7		
許可されるポートの最大数	3-17	M	
スロット設定の例	3-17	Master Switch Controller	3-4
説明	3-3	Multi Access Blade	
Cisco MeetingPlace 8112 の設定		説明	3-4
例	3-17		
Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェア	3-22	P	
Configuration Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server	3-8	Port Resource Card	3-4
		Primary Rate Interface (一次群速度インターフェイス)	3-4
E			
Euro ISDN	3-4	Q	
		QSIG	3-4
I			
Installation Planning Guide for Cisco MeetingPlace	3-22	S	
		SQL データベース	3-22

T

Telco
アラーム 3-7

U

UNIX/POSIX 3-22

W

WAN 3-22

あ

アラーム パネル、場所 3-3

か

外部モデム
説明 3-5

こ

このリリースの新機能 1-3

し

システム データベース ディスク
説明 3-5

そ

ソフトウェア 3-22
SQL データベース 3-22
UNIX/POSIX 3-22

て

ディスク ドライブ
LED 3-6

ね

ネットワーク インターフェイス
説明 3-5

ふ

ファン アセンブリ
LED 3-6
ブレード
設定の可否 3-8
ブレード設定の可否 3-8
ブレードとポートの情報 3-8

ほ

ポートとブレードの情報 3-8